

# レトロゾール錠 2.5mg 「JG」

服用される患者さまへ



# 主な副作用

## ◆骨粗鬆症（こつそしょうしょう）

- 骨密度が低下し、骨折しやすくなる可能性があります。
- お薬を服用している間は、定期的に検査を受けて骨の状態を確認することが大切です。

## ◆関節痛

- 朝起きると体の節々が痛んだり、こわばったりすることがあります。
- これらの症状は、時間の経過とともに次第におさまっていくことが多いです。

## ◆ほてり

- 体温調節がうまくできないことがあります。
- 顔や体が急に熱を感じる、汗をかきやすくなる、などの症状が現れることがあります。
- 服装の工夫や運動など日常に取り入れてみましょう。

上記以外にも、気になる症状が現れた場合は、  
医師または薬剤師に相談してください。



# 服用方法及び服用中の注意点

## ◆服用方法

必ず医師に指示された服用方法に従ってください。

- 通常1日1回1錠を毎日服用します。
- お薬は包装(PTPシート)から取り出し、コップ1杯程度の水(またはぬるま湯)で服用してください。

## ◆薬を服用し忘れた場合

- 気がついたときに、できるだけ早く服用してください。ただし、次の服用時間が近い場合は、忘れた分は服用しないで、1回分とばし、次の通常の服用時間に1回分を服用してください。
- 絶対に2回分を1度に服用しないでください。

## ◆誤って多く服用した場合

- すぐに医師または薬剤師に相談してください。

## ◆医師の指示なしに服用をやめないでください。

## ◆高齢の患者さまは、特に医師の指示を守って服用してください。

## ◆服用中の注意点

- 疲れ、めまい、眠気が起こることがあるので、このお薬を服用中は、自動車の運転や機械を操作するときは注意してください。
- 他の医療機関を受診する場合や薬局で薬を買う場合は、レトロゾール錠を服用していることを伝えてください。

## ◆保管方法

- 乳幼児、小児の手の届かないところで、直射日光、高温、湿気を避けて保管してください。

# 日常生活について

## ◆定期健診は必ず受けてください。

- 検診では、視触診、血液検査、X線検査などを行います。
- 手術後の体調管理のため、再発・転移の確認のために、定期健診をきちんと受けてください。

## ◆自己健診をしましょう。

- ひと月に1回、日をきめてセルフチェックを行ってください。
- 手術しなかった方の乳房や周囲のリンパ節などにも、しこりや腫れ、ひきつれなどがいないかどうか確認しましょう。
- 自己検診の方法
  - 鏡に向かい、腕を上げて、乳房の変形や左右差がないか。
  - 渦を描くように手を動かして、指で乳房にしこりがないか。
  - 仰向けになって外側から内側へ指を滑らせ、しこりがないか。

## ◆太りすぎないようにしましょう。

- 肥満の患者さまの乳がん発症リスクは高いと言われています。

## ◆骨を強く保ちましょう。

- お薬の副作用により、骨密度が低下して、骨折を起こすことがあります。カルシウム、ビタミンDなどの摂取に加えて、適度な運動を行いましょう。

## ◆関節痛には、ストレッチなどの軽い運動を するとよいでしょう。